

急がずに マナーと
ゆとりで 交通安全

夕暮れ時の早めの ライト点灯で交通事故防止

市民課生活相談係

☎43-7044

子どもと高齢者の

交通事故防止

平成23年8月1日現在、今年の内での交通事故は107件発生し、3人が死亡、負傷者は132人になっています。交通事故による死者は昨年の同じ時期に比べると2人増加しており、うち2人が高齢者です。

また、交通死亡事故は夕暮れ時から夜間にかけて多く発生し、薄暗い路上での歩行者の事故が目立ちます。これから日が暮れるのが早まり、交通事故の多発が心配されます。

最近では、高齢者の自転車運転による事故も多発していますので歩行者も運転手も、一人ひとりが交通安全の意識を持ち、ゆとりをもって行動しましょう。



9月21日(水)~30日(金)

秋の 全国交通安全運動

歩行者も運転手も交通ルールを守り、交通事故を起こさない、遭わないようにしましょう。

全ての座席でシートベルトを

シートベルトは大切な命を守ります。自動車に乗ったら必ずシートベルトを着用しましょう。

全ての座席でシートベルトを着用し、チャイルドシートはしっかりと装着し、正しく固定するようにしましょう。
☆時速40^キメートルで走行している車が衝突した場合、抱いている子どもには体重の約30倍の力がかかります。体重10^キグラムの乳幼児には約300^キグラムの力がかかり、抱っこでは支えられません。

飲酒運転根絶

「そんなに飲んでねー」
「こんけえだば運転しても大丈夫だべ」
「さつと寝たがらあげたー」
そんな安易な判断は絶対ダメ

飲酒運転は、悲惨な重大事故を引き起こす可能性が高い悪質な犯罪です。一人ひとりが飲酒運転の悪質性、危険性を認識し「しない・させない」を合言葉に、家庭、職場、地域で積極的に飲酒運転の根絶に取り組みましょう。
大館市は、平成22年の飲酒運転追放等競争で県内4位。今年度はぜひともトップを目指しましょう。

「見える歩行者」になろう

夜間はもちろん、夕暮れ時は、ドライバーから歩行者や自転車が見えにくくなります。夕暮れ時の交通事故を避けるためにも「外出の際には明るい色の服装にする」「反射材をつける」などして見える歩行者になりましょう。
ドライバーは早めのライト点灯を心がけ、先行車や対向車がないときはヘッドライトを上向きにして走行しましょう。

自転車

安全利用五則

- 1 自転車は車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
- 4 安全ルールを守る
・飲酒運転、二人乗り、並進の禁止
・夜間はライトを点灯
・交差点での信号遵守と一時停止、安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用



9月30日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。「交通事故ゼロ」を目指し一丸となって取り組みましょう。

ご参加ください!

交通安全市民大会!!

第33回大館市交通安全市民大会を開催します。交通事故の無い、安全で安心な大館市を実現するため、市民総ぐるみで交通事故防止運動を推進しましょう。どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。



とき 9月24日(土) 13時30分
ところ 市民文化会館
内容
・交通安全功労者等の表彰
・交通安全レターの発表
・秋田県警察音楽隊の演奏
・超神ネイガー「交通安全教室」など

平成22年

飲酒運転の事故 (秋田県)

発生件数 38件
死者数 5人
負傷者数 41人
検挙数は508件!!
(秋田県警察)

